

「万座温泉に響く賛美と御言葉」(2023.10.15)

御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。(Ⅱテモテ 4:2)

8月下旬、教会から夏季休暇を戴き、家内と二人で、標高 1800 メートルにある群馬の万座温泉・日進館でゆっくりしてきました。到着したその日の夜、ゴスペルによるライブがありました。若いゴスペルシンガー4名が100名ほどの宿泊客の前で、大胆に賛美と証ししていました。「いつくしみふかき」を賛美し、また「神の目にはあなたは高価で尊い」と語るのです。特に目を引いたのは、ロック調で賛美する男性です。皆をその気にさせるのです。浴衣を着た年配の男女が手を叩いて合わせるのです。ここは一体どこだ？教会か？そんな感じなのです。なぜか、涙がでてきました。牧師である私が身を隠して温泉に浸っている時に、この若者たちは伝道しているのです。終わってから自分の素性を明かし、とても励まされた旨伝えました。ロック調のあの男性、実は、サルーキ=の千代さんでした。大曲教会のライブで会っていたのです。こうなるか！驚きました。

この旅館の経営者はクリスチャンで、泉堅さんと言います。5年前に召されましたが、彼の証しを紹介しませう。20歳の時、自分の病の癒しを通して神様を信じるようになります。そして、ある日、神様に触れられたとしか言いようのない経験をし、心が平安と喜びに満たされます。それまでは事業拡張を考えていましたが、それよりも神様の喜ぶことをしたい、と思うようになります。そして、フロアーショーを始め、巧みなトークと歌で客を楽しませ、そして福音を伝えるのです。しかし、クレームと妨害が入ることもあったと言います。



そこで何をどう語るべきか、聖霊様にゆだねて、知恵と勇気を戴き、臨みます。いろいろな方々が救いに導かれ、やがて、ゴスペルシンガーやクリスチャンのミュージシャンが現れ、協力してくれるようになります。信仰を鮮明にすると、敬遠する人もいるが、そのような人が一人去れば、好意的な人が10人来る、そういう真理を知ったというのです。だからすべての人を引き留めようとするのを止めます。この45年間、大型ホテルや旅館が相次いで倒産しているのに、ここだけは残っている、と証しています。彼が召された後、奥様が経営を引き継ぎ、スタッフ一同、今も同じ方針で運営しています。

音楽の賜物を生かして証している若者たち。温泉に浸って戴き、福音を届けようとする旅館とそのスタッフ。私たちもまた、お互いが置かれた場で、上掲の御言葉を心がけたいと思います。